



まつえだより 9月

September

保険治療＝銀歯 自費治療＝白い歯
というイメージがあるかもしれませんが、実は
保険でも入れられる白い歯があります!! 今月号は
保険の白い歯の種類やメリット・デメリット、などをご案内します。



保険治療でできる白い歯には
適用条件やデメリットもありますが、
もちろんメリットも多く、その適応
範囲も年々拡大してきています。
毎年のように“特例”が増えており、
保険治療から金属がなくなる日も
そう遠くない未来に来るのかも
しれません。



このような虫歯や銀歯もコンポジットレジンならきれいに修復



1. 虫歯や以前詰めた銀の詰め物を最小限 削除します。
2. コンポジットレジン を歯の上に盛ります。
3. 形を整え紫外線を当てて固め、研磨して終了です。

保険の白い歯とはどんなものか？

現在、保険で認められている白い素材は基本的にはひとつだけ(条件つき)で、「**レジン (コンポジットレジン＝CR)**」と呼ばれる、プラスチックのような素材です。レジンが適応できない場合には、**金属 (銀色)** で治療することになります。

【レジンのメリット】

レジンとはとても扱いやすい素材で、次のような利点があります。

- 歯を削る量を最小にできます
- 1回で治療が終わります
- 治療費も1本2,000円以内で安価です(3割負担額、再診で治療のみの場合)

【レジンのデメリット】

一方で、レジンと金属と比較すると“**強度**”に不安があります。そのため、レジンと金属は歯の一部が虫歯などで失われた際に使用します(詰め物)。大きく歯が失われた場合や咬み合わせの力が大きくかかる部位には、金属で治療することになります(保険治療の場合)。



なるべくなら見かけのいい白い修復物で治療してあげたい思いはとても強いです。最初から保険だけに縛られず、広く長い目で治療の選択をしていくことが時には重要になると思います。新しい制度での適応範囲や使える素材、そして概算の費用を掲載していますが、不明な点があれば来院されたときにでも、気軽にお尋ねください。

ハニヨイ
☎075-711-8241